

件 名

I C T を活用した教育の推進について

提出理由

I C T を活用した教育の推進について、別紙のとおり報告します。

概 要

1 G I G A スクール構想について

- (1) 国の動き
- (2) G I G A スクール構想による I C T 環境整備

2 本県における I C T 教育の現状

- (1) 学校における I C T 環境
- (2) 学校における I C T 活用状況
- (3) 授業等における I C T 活用事例
- (4) I C T 活用における学びの変化

(I C T 教育推進課)

3 ICT活用推進の課題と取組

- (1) 教員のICT活用指導力向上
- (2) 県立高校の1人1台タブレット端末整備

1 G I G Aスクール構想について

(1) 国の動き

● 学習指導要領 総則

総則において、児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）等の学習の基盤となる資質・能力を育成するため、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとすることを明記。

国のG I G Aスクール構想の実現

● 国のG I G Aスクール構想（令和元年）

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備
- 特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

1 GIGAスクール構想について

(2) GIGAスクール構想によるICT環境整備

国・県の動き

教育のICT化に向けた環境整備
5か年計画（H30～R4）

児童生徒が使用する端末3
クラスに1クラス分の地方
財政措置

○タブレット等の整備
中・高校
（H30～R2）
特別支援学校
（R2～R4）

GIGAスクール構想

GIGAスクール構想・加速・拡充
（～R2）

- ・高速大容量の通信ネットワーク整備
- ・義務教育段階の児童生徒1人1台の端末整備
- ・高等学校段階における低所得世帯等の端末整備

- 高速大容量の校内通信ネットワーク更新
- 公立小中学校・特別支援学校小・中学部1人1台環境の実現
- 県立高校低所得世帯等の端末整備

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策
（R3～）

- ・GIGAスクール運営支援センター整備事業
- ・学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業

- GIGAスクール運営支援センターの整備（R4）
- 教員1人1台の学習用端末整備（R4～R6）

2 本県におけるICT教育の現状

(1) 学校におけるICT環境

● 県内公立小・中学校

- 校内高速大容量通信ネットワークを整備
ネット上にある動画教材などの活用や、遠隔地との同時双方向交流ができる環境が整う
- 児童生徒1人1台タブレット端末を整備
様々な学習用アプリを活用して生徒同士の共同作業、小テストの配信・回収等が行える

● 県立高校

- 校内高速大容量通信ネットワークを整備
- 生徒が所有する端末を学習活動で使用（BYOD(※)方式)
(※)Bring your own device の略。
- 令和5年度入学生より1人1台タブレット端末を保護者負担で準備
公費において貸出用端末を整備

2 本県におけるICT教育の現状

(1) 学校におけるICT環境

● 県立特別支援学校

- 校内高速大容量通信ネットワークを整備
- 小・中学部は児童生徒1人1台タブレット端末を整備（高等部はBYOD）
- 障害に応じた対応機器を整備
 - ・視線入力装置：身体的な制限がある児童生徒に活用
 - ・テレプレゼンスロボット：病室から出られない児童生徒に活用



【視線入力装置を活用した様子】



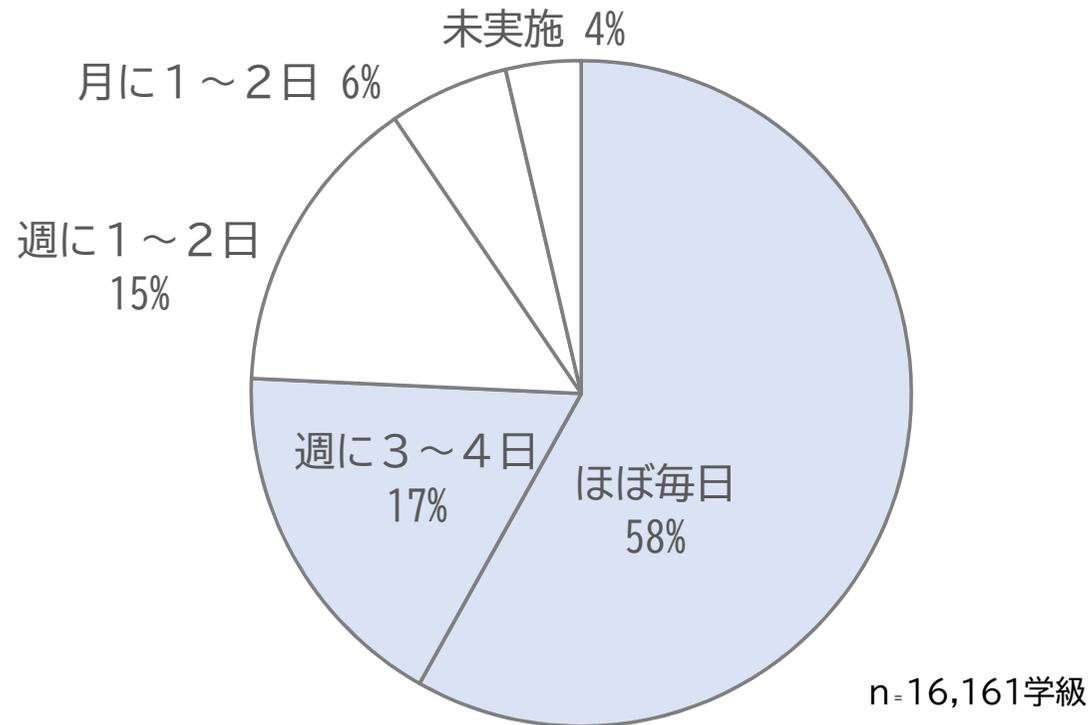
【テレプレゼンスロボットによる
遠隔コミュニケーションの様子】

2 本県におけるICT教育の現状

(2) 学校におけるICT活用状況

● 市町村立学校において、 ICTを活用して授業を行っている日数

(県調査「GIGAスクール構想実現に向けた進捗状況等に関する調査」(令和4年5月末日現在))

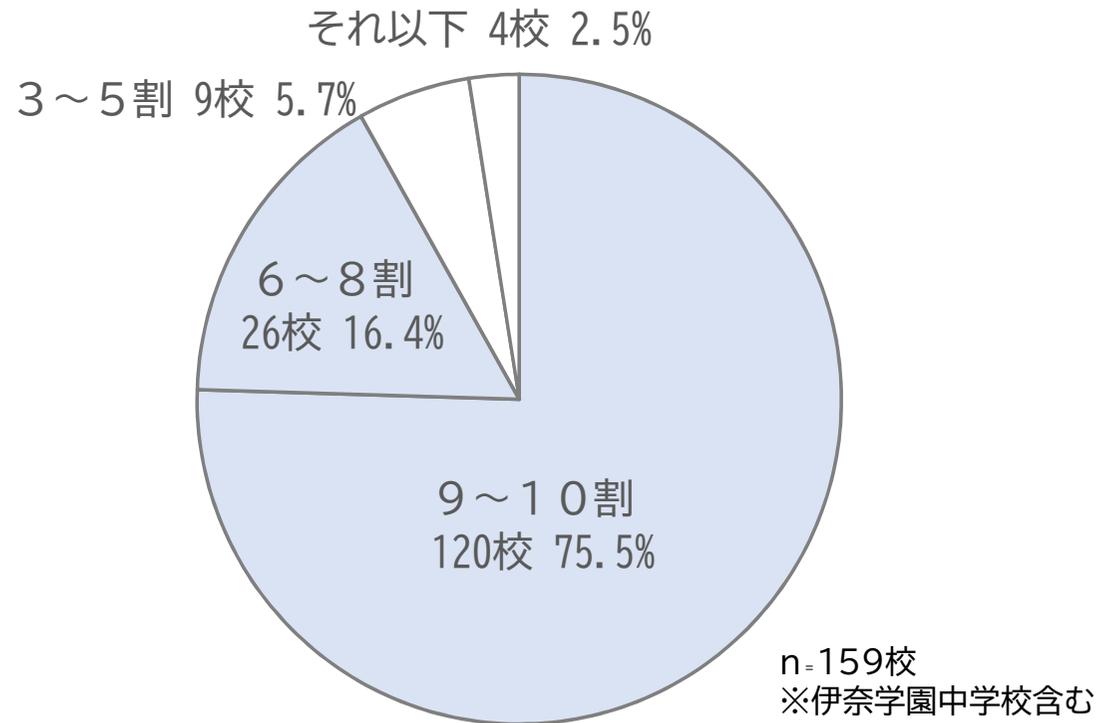


2 本県におけるICT教育の現状

(2) 学校におけるICT活用状況

- 県立高校及び県立中学校において、
授業や教育活動の中で日常的にICTを活用している教員の割合

(県調査「端末整備状況及びICT活用状況に関するアンケート調査」(令和4年5月末日現在))

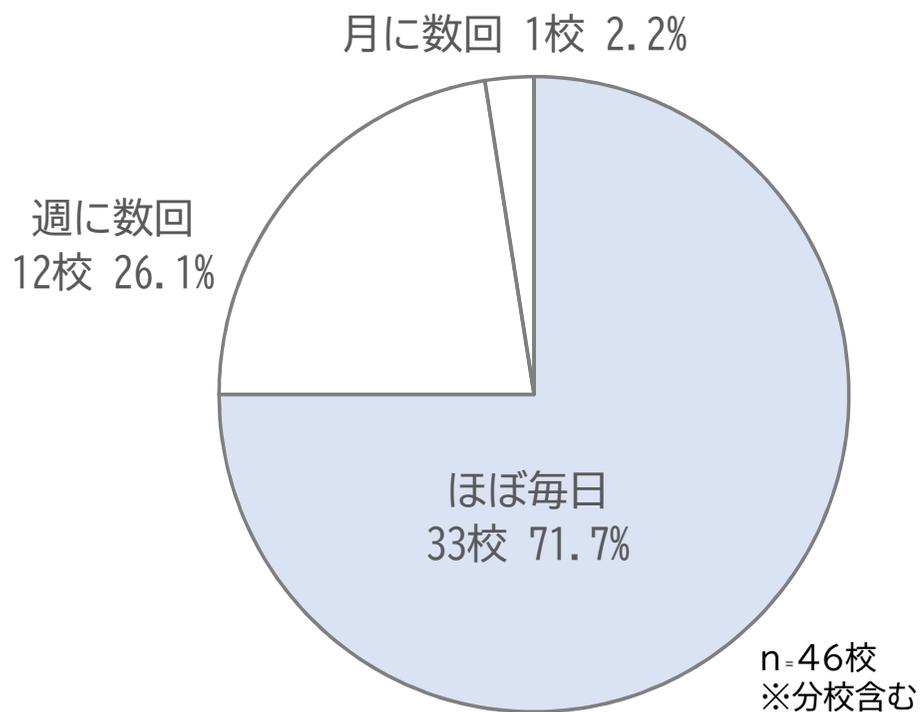


2 本県におけるICT教育の現状

(2) 学校におけるICT活用状況

● 県立特別支援学校において、 ICTを活用して授業を行っている回数

(県調査「端末整備状況及びICT活用状況に関するアンケート調査」(令和4年5月末日現在))



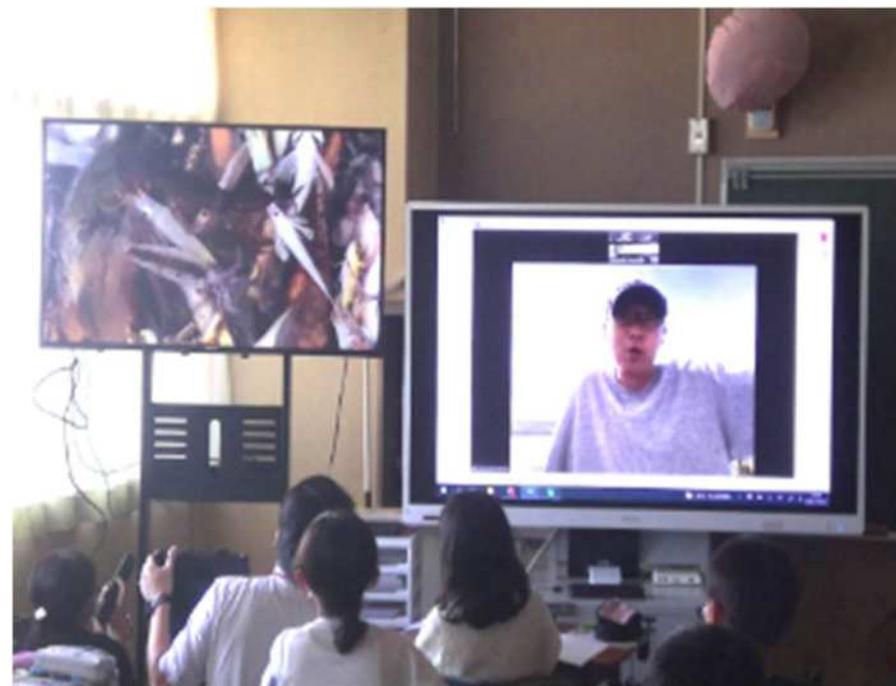
2 本県におけるICT教育の現状

(3) 授業等におけるICT活用事例

● 市町村立学校での活用事例



- ・ 学習の個別化（一斉学習・個別学習）
生徒は端末から課題を提出し、先生が添削している場面（小学校5年生 国語：作文）

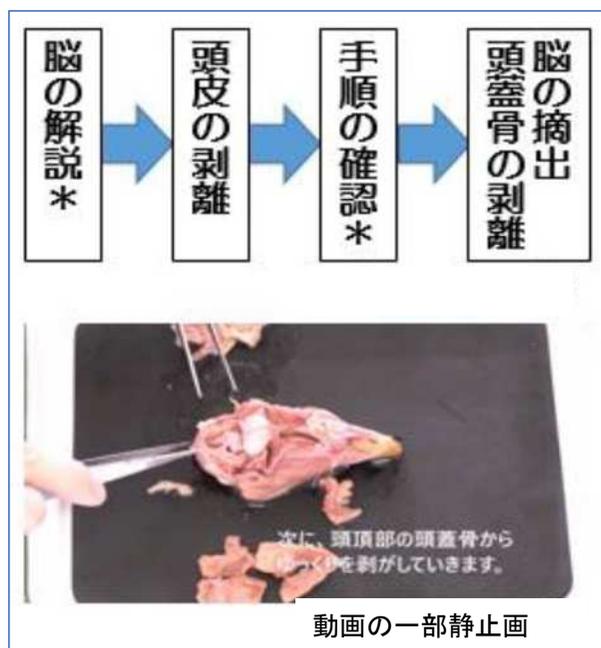


- ・ 遠隔地との交流（一斉学習）
Web会議システムを使った社会科見学（小学校5年生 社会：水産）

2 本県におけるICT教育の現状

(3) 授業等におけるICT活用事例

● 県立高校での活用事例



- ・ 学習の個別化（個別学習）
理科の授業において、生徒が個人のペースに合わせて実験動画を確認しながら実習（理科：生物）

- ・ 協働的な学び（協働学習）
端末上で、意見交換・議論し、様々な意見や考えをリアルタイムで整理（総合的な探究の時間）

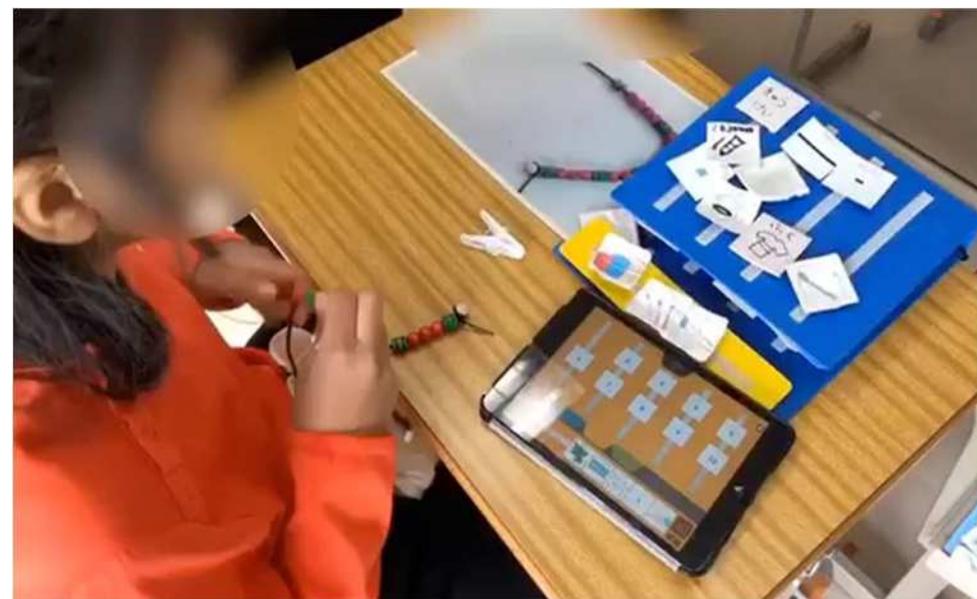
2 本県におけるICT教育の現状

(3) 授業等におけるICT活用事例

● 県立特別支援学校での活用事例



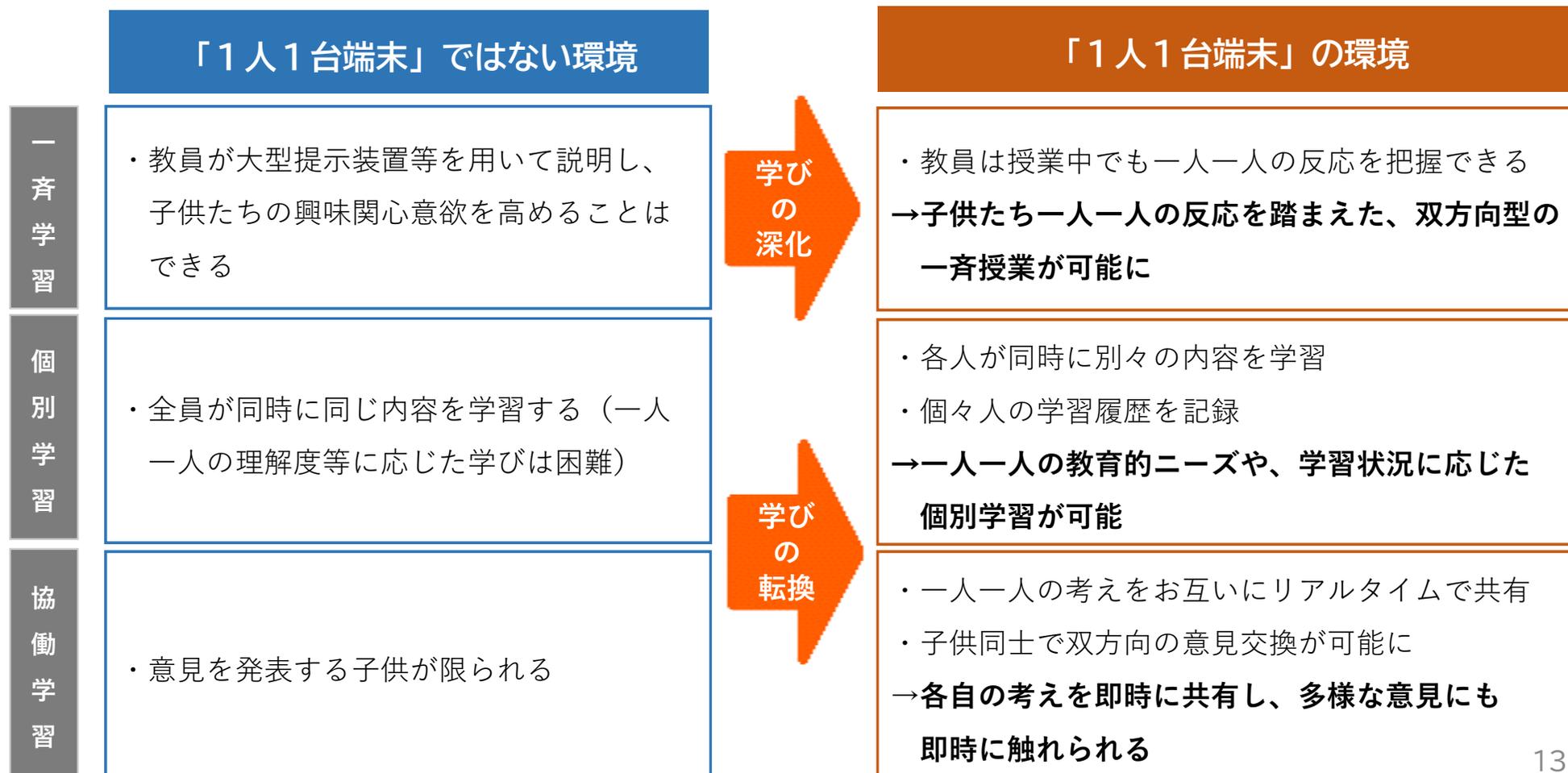
- ・ 学習の個別化（個別学習）
端末のスケジュール機能を活用し、日常生活の指導に活用



- ・ 学習の個別化（個別学習）
アプリ内のイラストから合成音声を作成し、意思伝達の補助として活用

2 本県におけるICT教育の現状

(4) ICT活用による学びの変化



3 ICT活用推進の課題と取組

(1) 教員のICT活用指導力向上

- 市町村間や学校間でのICT活用状況に違いがあり、教員のICT活用指導力向上が必要

【取組】

✓ 「ICT活用プロジェクト」の実施

- ・学校におけるICT活用を推進するリーダー人材育成
- ・先進的なICT活用授業の授業公開や授業視察

✓ ICTに関する研修（県立総合教育センター）

- ・ICTを活用した授業の工夫やアプリケーションの活用に関する研修等の実施

✓ GIGAスクール運営支援センター・ICT支援員・Web相談窓口の設置

- ・県立学校を対象とした技術的な支援（R4:21校）
- ・相談対応や研修等の訪問による支援（R3:791件、R4:585件（9月末現在））

■ 5か年計画指標

「児童生徒がICTを活用して学びを深めることを指導できる教員の割合」（全校種）

R2 63.4% → R3 70.0%（速報値） → R8 100%

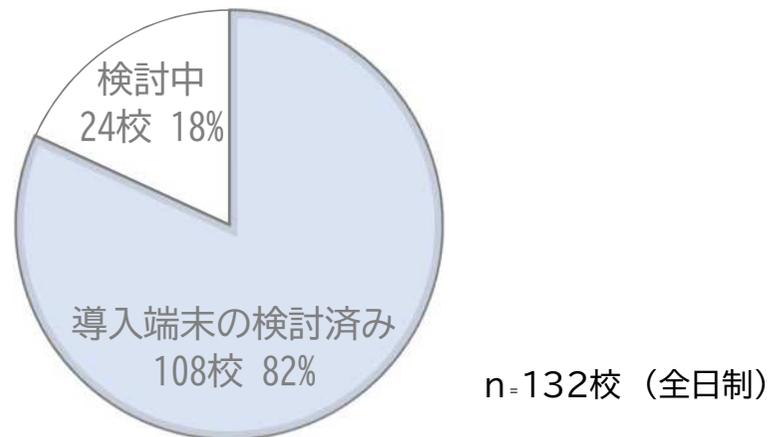
3 ICT活用推進の課題と取組

(2) 県立高校の1人1台タブレット端末整備

- 令和5年度入学生から、生徒の1人1台タブレット環境を目指し、整備に向けた検討・準備が必要

端末整備の進捗状況

(県調査「生徒1人1台タブレット端末整備に係る情報共有アンケート」(令和4年9月末日現在))



【取組】

- ✓ 検討中の学校への支援 (先行して導入した学校の事例提供、学校への訪問)
- ✓ 1人1台端末の整備に向けたリーフレットを作成し中学3年生及び保護者へ周知